

【新潟】新潟県トラック協会の青年部会（葦澤誠吾

新ト協青年部会・女性協

初の合同研修開催

24年問題 解決へヒント



部会長）と女性協議会（五月女奈緒美会長）は14日、三井住友海上火災保険営業推進部の富永剛生課長を講師に招き、「2024年問題」に関するセミナーを開いた。合同での研修は初めて。

女性協の発足直後に新型コロナウイルス禍が発生。活動自粛を余儀なくされたが、感染症の分類が引き下げられたことを受け、青年

「経営者がリーダーシップを取らなくては」と五月女・女性協会会長

部会に開催を呼び掛けた。

葦澤部会長は「トラック運送業界には難題が多い。特に24年問題は業界以外にも関係し、国の経済を揺るがす大きな課題だ。解決へのヒントを持ち帰り、改善につなげてほしい」と呼び掛けた。

富永氏は、関連法規の改正内容といった基礎知識を説明。運行管理者や労務管理担当者が注意すべき変更点の詳細、違反した場合の罰則などを、図と数式を交えて解説した。

最後に、五月女会長は「法令順守できていると考えていたが、更に検証する余地があると感じた。様々な機関が周知活動を展開しているが、実行するのは私たちだ。経営者がリーダーシップを取らなくてはならない」と強調した。

（原田洋一）